

岩滑地域資源保全の会

市町村名 掛川市

地域	岩滑地域		代表者名	飯田政明	活動期間	平成20～24年度	
協定面積 (ha)	水田	39.00	対象面積 (ha)	水田	39.00	対象資源	数量
	畑	1.00		畑	1.00	農用地	40ha
	草地			草地		開水路	6.0km
	計	40.00		計	40.00	パイプライン	10.0km
主要作物	水稲		参加団体	農業者親睦会 親和会 組長会	親交会 明和会 子供会	ため池	
構成員	農業者	非農業者	計			農道	6.0km
人数	8	10	18			事業費(年)	1,744,000
主な活動内容	<p>(基礎部分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 遊休農地等の発生状況の把握 施設の点検 共同作業計画の策定 草刈り 配水操作 かんがい期前の注油 <p>他</p>		<p>(農地・水向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の機能診断 診断結果の記録管理 年度活動計画の策定 きめ細やかな雑草対策 ゲート類等の保守管理の徹底 <p>他</p>		<p>(農村環境向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> 景観形成、生活環境保全計画の策定 地域住民等との交流活動 学校教育等との連携 農用地を活用した景観に配慮した作付け 農用地等を活用した景観形成活動 		
地域の概要	<p>本地区は、県営ほ場整備事業(S48完了)と土地改良総合整備事業(H11完了)により、ほ場や用排水路の基盤整備が行われた水田地域である。農業生産法人「佐東ファーム」が、地域の農用地を集積し(21年度で10年めを迎える)、営農を展開している。</p>						
目指すべき方向	<p>地権者(約100人)だけでなく岩滑地域全体(約160世帯)での環境活動になってきている。また農業生産法人への強力な支援にもなっている。現在は草刈が主体であるが、今後は草を少なくしたり、生やさぬことに挑戦していく</p>		<p>開水路の泥上げ</p>				
活動の感想	<p>水田農業を続けていくという雰囲気醸成するための基礎活動としての意義は大きいと感じられる。</p>						
課題	<p>担い手である農業生産法人の経営を軌道に乗せ、若い担い手を育成することが目下の最大の課題である。農地・水はそのための環境作りに貢献できると感じている。</p>		<p>開水路側壁のはらみ補修</p>				
抱負・コメント	<p>今、既に発生している遊休農地に焦点をあてるよりも、今後どうしたら遊休農地を発生させないかに焦点をあてるべきである。そのためには</p> <ol style="list-style-type: none"> 戸別所得補償(これはこれで大きな意義がある)-10haの耕作面積で経営が成立つのではないか- 農地集積(10haくらい集積すれば経営が成立つ)これを早くやらないと現農業者が歳をとって農業をやめてしまい、大量の遊休農地が発生する。農地集積の環境作りに当農地・水の活動が大きく貢献できると思う。 						
			<p>学校教育との連携</p>				